
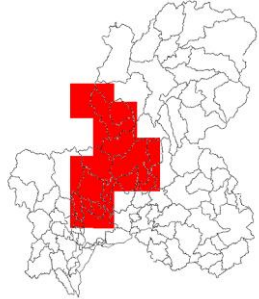


ステゴビル	<i>Allium inutile</i> Makino	絶滅危惧 I 類
(環境省:絶滅危惧 II 類)		ユリ科
選定理由	生育地と個体数が急速に減少している。	<p>写真(高橋弘)</p> 
形態の特徴	鱗茎のある多年草。花被の筒部は長さ約0.5mm、裂片の長さは 5-6mm。雄蕊は短く、花被裂片の基部につく。花柱は1本で、柱頭は3裂する。花被は白色で、外面と裂片中肋はしばしば淡赤紫色を帯びる。果実は蒴果。	
生態的特徴	明るい草地や土手に生える。葉は晩秋に出て、翌年の夏までに枯れる。花茎は9月に伸び、9月下旬から10月中旬に散形花序をつける。	
分布状況	関東から近畿にかけて分布する。岐阜県では中濃と西濃の北部にある。	
減少要因	開発や道路拡幅工事による生育地の破壊。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項	開花期でないときは多く見られるネギ類との区別が困難である。	
参考文献		

文責:高橋弘